

## 景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

### 【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式	
調査時点	令和2年6月1日発送
	令和2年6月10日投函期限
調査対象	信用保証利用先1,500企業
有効回答数	600 企業(回答率 40.0%)

※ 当期: R02年4月～6月実績見込  
次期: R02年7月～9月期予測

### 【DI値について】

- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

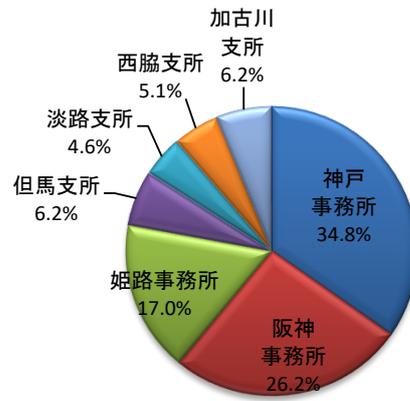
兵庫県信用保証協会



## I. 貴社の概要について

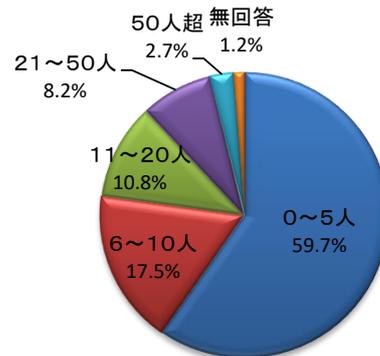
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	203	34.8%
阪神事務所	153	26.2%
姫路事務所	99	17.0%
但馬支所	36	6.2%
淡路支所	27	4.6%
西脇支所	30	5.1%
加古川支所	36	6.2%
小計	584	100.0%
地域不明・無回答	16	-
合計	600	-



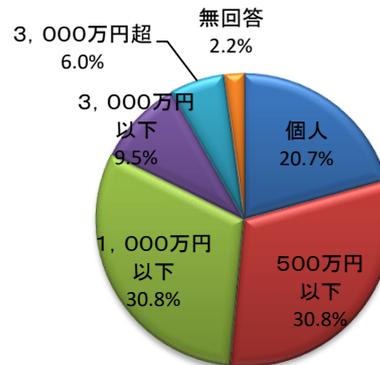
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	358	59.7%
6～10人	105	17.5%
11～20人	65	10.8%
21～50人	49	8.2%
50人超	16	2.7%
無回答	7	1.2%
合計	600	100.0%



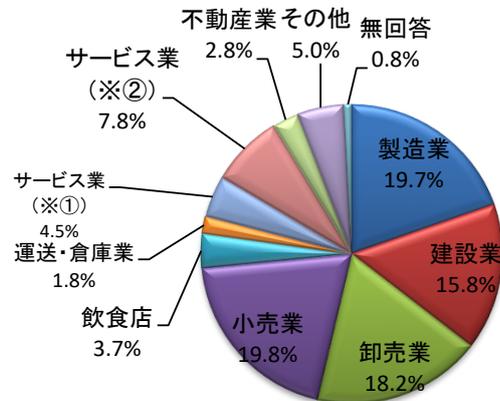
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	124	20.7%
500万円以下	185	30.8%
1,000万円以下	185	30.8%
3,000万円以下	57	9.5%
3,000万円超	36	6.0%
無回答	13	2.2%
総計	600	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	118	19.7%
建設業	95	15.8%
卸売業	109	18.2%
小売業	119	19.8%
飲食店	22	3.7%
運送・倉庫業	11	1.8%
サービス業(※①)	27	4.5%
サービス業(※②)	47	7.8%
不動産業	17	2.8%
その他	30	5.0%
無回答	5	0.8%
合計	600	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

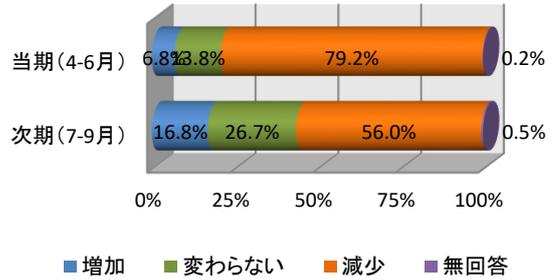
**Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。**

- (1) 当期(20年4~6月期)は、前期(20年1~3月期)に比べどのような状況ですか。  
 (2) 次期(20年7~9月期)は、当期(20年4~6月期)に比べどう思いますか。

**【生産・売上】**

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	41	6.8%
変わらない	83	13.8%
減少した	475	79.2%
無回答	1	0.2%
総計	600	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	101	16.8%
変わらないと思う	160	26.7%
減少すると思う	336	56.0%
無回答	3	0.5%
総計	600	100.0%

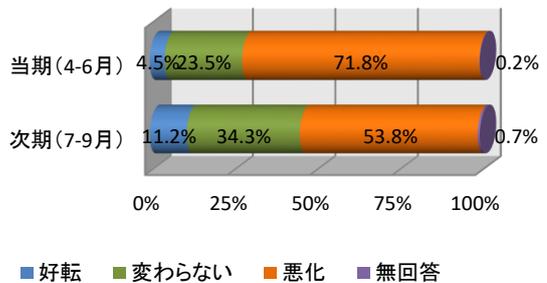
**生産・売上DI(増加-減少)**

調査時期(実績)	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月(見込み)
兵庫県	▲ 4.5	▲ 5.4	▲ 0.5	▲ 15.8	▲ 6.6	▲ 8.7	▲ 11.9	▲ 36.9	▲ 72.3	▲ 39.2

**【採算】**

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	27	4.5%
変わらない	141	23.5%
悪化した	431	71.8%
無回答	1	0.2%
総計	600	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	67	11.2%
変わらないと思う	206	34.3%
悪化すると思う	323	53.8%
無回答	4	0.7%
総計	600	100.0%

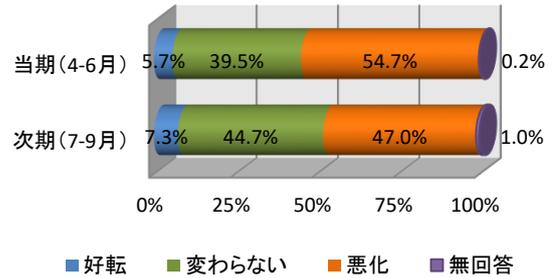
**採算DI(好転-悪化)**

調査時期(実績)	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月(見込み)
兵庫県	▲ 10.6	▲ 13.5	▲ 4.8	▲ 13.9	▲ 12.3	▲ 15.9	▲ 12.2	▲ 36.6	▲ 67.3	▲ 42.7

【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	34	5.7%
変わらない	237	39.5%
悪化した	328	54.7%
無回答	1	0.2%
総計	600	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	44	7.3%
変わらないと思う	268	44.7%
悪化すると思う	282	47.0%
無回答	6	1.0%
総計	600	100.0%

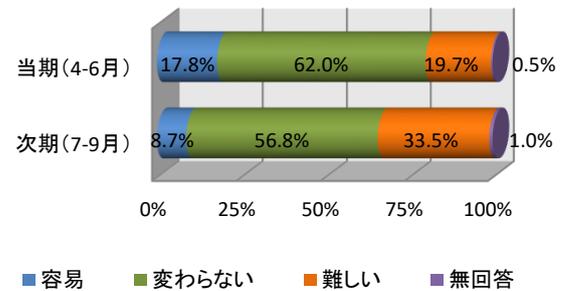
資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月	2019年 4~6月	2019年 7~9月	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月(見込み)
兵庫県	▲ 11.3	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 12.0	▲ 9.1	▲ 14.2	▲ 8.5	▲ 24.9	▲ 49.0	▲ 39.7

【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	107	17.8%
変わらない	372	62.0%
難しくなった	118	19.7%
無回答	3	0.5%
総計	600	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	52	8.7%
変わらないと思う	341	56.8%
難しくなると思う	201	33.5%
無回答	6	1.0%
総計	600	100.0%

借入難易感DI(容易-難しい)

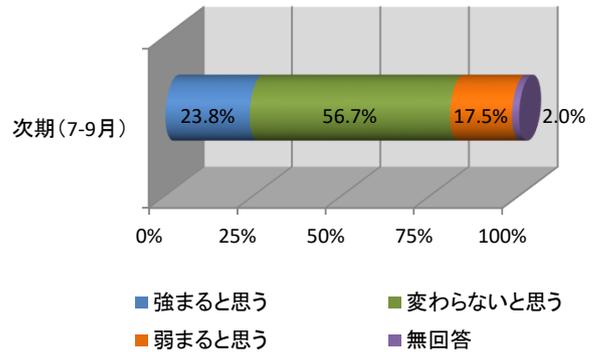
調査時期(実績)	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月	2019年 4~6月	2019年 7~9月	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2020年 7~9月(見込み)
兵庫県	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 1.9	▲ 2.4	▲ 0.9	▲ 5.6	▲ 0.9	▲ 10.6	▲ 1.8	▲ 24.8

当期(4-6月)のDI値については、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において前回調査(1-3月)に比べ悪化し、「借入難易感」については、改善しました。  
次期(7-9月)のDI値については、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において当期(4-6月)に比べ改善し、「借入難易感」は悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	143	23.8%
変わらないと思う	340	56.7%
弱まると思う	105	17.5%
無回答	12	2.0%
総計	600	100.0%



信用保証付要請DI(強まるー弱まる)

調査時期 (見込み)	2018年 1~3月 (4~6月)	2018年 4~6月 (7~9月)	2018年 7~9月 (10~12月)	2018年 10~12月 (1~3月)	2019年 1~3月 (4~6月)	2019年 4~6月 (7~9月)	2019年 7~9月 (10~12月)	2019年 10~12月 (1~3月)	2020年 1~3月 (4~6月)	2020年 4~6月 (7~9月)
兵庫県	5.4	▲ 0.9	4.0	7.8	4.3	7.7	4.7	4.3	7.6	6.3

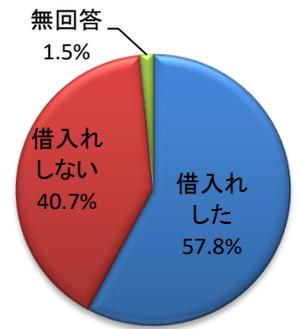
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

### Ⅲ.当期(20年4～6月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。  
※手形の割引は含めません

選択肢	20年4～6月期		20年1～3月期	19年10～12月期	19年7～9月期	19年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	347	57.8%	26.8%	29.8%	31.6%	32.0%
借入れしない	244	40.7%	71.5%	67.5%	67.0%	67.4%
無回答	9	1.5%	1.6%	2.7%	1.4%	0.6%
総計	600	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

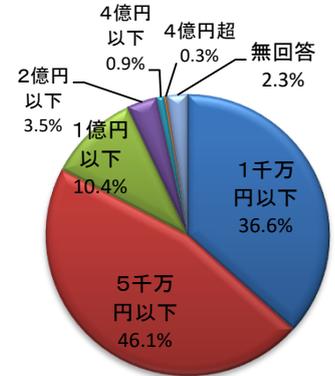
当期の借入れは、前回調査と比べ、31.0ポイントの大幅な増加となりました。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	20年4～6月期		20年1～3月期	19年10～12月期	19年7～9月期	19年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	127	36.6%	46.5%	33.7%	31.9%	44.6%
5千万円以下	160	46.1%	35.4%	42.9%	48.7%	38.4%
1億円以下	36	10.4%	7.1%	9.2%	4.4%	4.5%
2億円以下	12	3.5%	3.0%	7.1%	7.1%	1.8%
4億円以下	3	0.9%	2.0%	1.0%	0.0%	1.8%
4億円超	1	0.3%	1.0%	1.0%	0.9%	0.9%
無回答	8	2.3%	5.1%	5.1%	7.1%	8.0%
総計	347	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

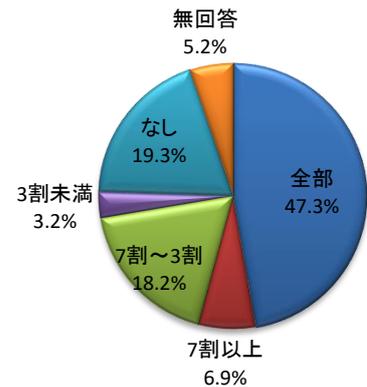
当期の借入総額は「1千万以下」「5千万円以下」の合計が82.7%となり、構成比の大半を占めています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

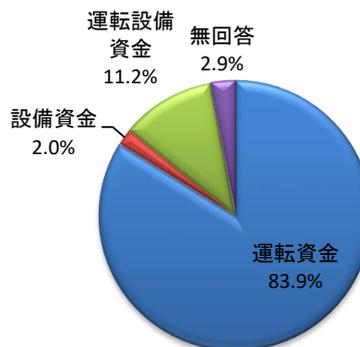
選択肢	20年4～6月期		20年1～3月期	19年10～12月期	19年7～9月期	19年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	164	47.3%	40.4%	31.6%	32.7%	32.1%
7割以上	24	6.9%	14.1%	8.2%	2.7%	7.1%
7割～3割	63	18.2%	8.1%	10.2%	16.8%	10.7%
3割未満	11	3.2%	3.0%	5.1%	7.1%	3.6%
なし	67	19.3%	31.3%	37.8%	32.7%	37.5%
無回答	18	5.2%	3.0%	7.1%	8.0%	8.9%
総計	347	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が、6.9ポイント増加し、「なし」とする回答が12.0ポイント減少しました。



当期借入金の目的は何ですか。

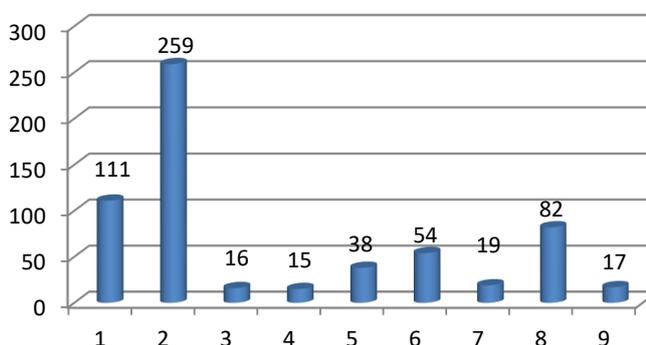
選択肢	回答数	構成比
運転資金	291	83.9%
設備資金	7	2.0%
運転設備資金	39	11.2%
無回答	10	2.9%
総計	347	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

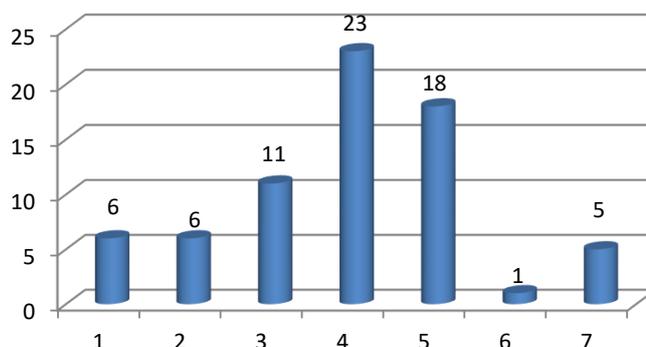
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	111
2 <b>売上減少・赤字補填</b>	<b>259</b>
3 過剰在庫対応	16
4 支払条件短縮対応	15
5 回収条件悪化対応	38
6 売上増加運転資金	54
7 在庫積み増し	19
8 季節運転資金	82
9 その他	17
総計	611



運転資金の種類は、「売上減少・赤字補填」が最も多く、次いで「既往借入の借換え」「季節運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

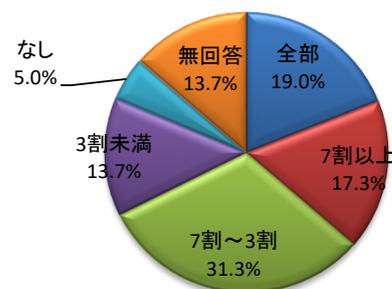
選択肢	回答数
1 新規事業	6
2 生産増強	6
3 合理化・効率化	11
4 設備老朽化に伴う入替	23
5 修理・修繕	18
6 公害防止・環境関連	1
7 その他	5
総計	70



運転資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が最も多く、次いで「修理・修繕」「合理化・効率化」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(20年6月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

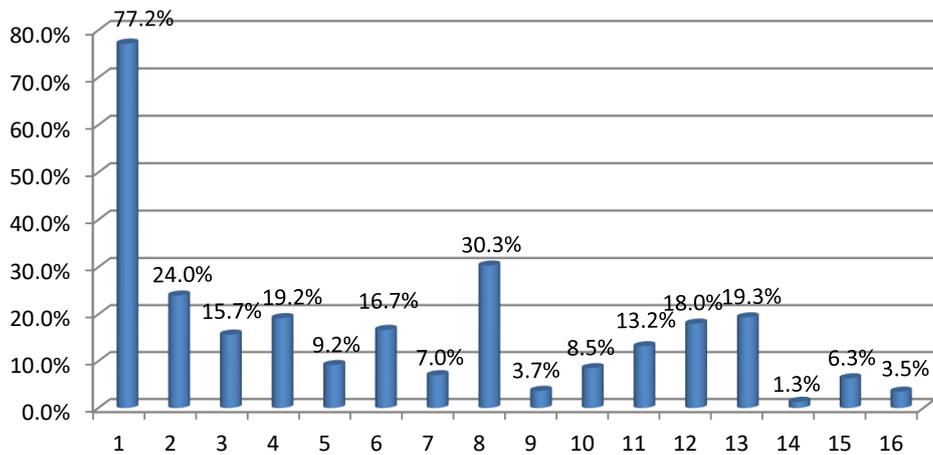
選択肢	20年4～6月期		20年1～3月期	19年10～12月期	19年7～9月期	19年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	114	19.0%	21.4%	18.8%	19.0%	18.0%
7割以上	104	17.3%	22.0%	15.5%	16.8%	15.1%
7割～3割	188	31.3%	30.1%	32.5%	35.2%	34.6%
3割未満	82	13.7%	16.0%	18.8%	18.2%	19.1%
なし	30	5.0%	4.9%	4.6%	6.4%	6.9%
無回答	82	13.7%	5.7%	9.7%	4.5%	6.3%
総計	600	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「7割～3割」「なし」とする割合が増加し、「全部」「7割以上」「3割未満」とする割合が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	463	77.2%	9 過剰在庫	22	3.7%
2 競争激化	144	24.0%	10 設備投資	51	8.5%
3 コスト高	94	15.7%	11 後継者難	79	13.2%
4 業界構造変化	115	19.2%	12 資金調達	108	18.0%
5 取引条件の悪化	55	9.2%	13 借入過多	116	19.3%
6 消費者ニーズの多様化	100	16.7%	14 為替	8	1.3%
7 技術・商品開発	42	7.0%	15 海外景気の減速	38	6.3%
8 人材・労働力の確保	182	30.3%	16 その他	21	3.5%



経営上の課題については、「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」「競争激化」が上位となっています。  
次いで、「借入過多」「業界構造変化」「資金調達」の順となっています。

